

高機能・多様化するシステムのEMC課題と対策技術特集 (和文論文誌B)論文募集

5G規格による通信端末などの高機能ウェアラブル機器の普及や、IoTによる多様な電気・電子機器のネットワーク化により、システムの高性能化が図られ、ユーザビリティの向上を実現しています。一方で、このような新しいシステムにおけるEMI（電磁干渉）問題や、電磁波による情報漏洩などのセキュリティ問題、更には多様な複合システムに対するEMC規格の適用性問題など、解決を要する新たな技術課題も浮き彫りになってきています。そこで、**本特集（2022年8月号）**では、これからの高機能・多様化するシステムのEMC課題とその対策技術に関わる最新の研究成果及び新しいシステムに対するEMC規格の動向などについて紹介を行います。なお、本テーマは取り扱うEMC課題を限定するものではなく、多様なシステムのEMCを確保するための電磁妨害の抑制技術、イミュニティ確保のための対策技術さらにはその評価法や、システムがつくる電磁環境下における生体EMCの問題等も含め、幅広い領域からのEMCに関する知見と技術を共有することを目的とします。多くの皆様からの積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

EMC計測、EMCモデリング、EMC対策・部品、システムレベルのEMC、イミュニティ、通信・電力システムのEMC、ESD・過渡現象、生体EMC、電磁波セキュリティ、回路基板設計、電磁遮へい・吸収技術、EMC規格動向、など

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆、査読の取り扱い是一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

https://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

・原則として、論文は刷り上がり8ページ、レターは同2ページを標準とします。

・特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

・**2021年4月1日から非会員の投稿が可能になりました。**

3. 主なスケジュール

投稿締切: **2021年10月12日(火) 厳守**

第1回判定通知: 2021年12月下旬を予定

最終判定通知: 2022年3月中旬～下旬を予定

掲載料支払期限: 2022年4月25日

発行月: 2022年8月号

(本特集の論文は採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。)

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspxにアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿PDFファイル(4MBまで)並びに編集用電子ファイル(1ファイルにつき10MBまで)をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局 <wabun-b@ieice.org>に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

【編集委員長】川又 憲(東北学院大)

【編集幹事】安在 大祐(名工大)、戸花 照雄(秋田県立大)

【編集委員】五百旗頭 健吾(岡山大)、石居 正典(産総研)、井瀧 貴章(阪大)、肖 鳳超(電通大)、日景 隆(北大)、山本 真一郎(兵庫県立大)、吉田 孝博(東京理科大)

6. 連絡先

戸花 照雄(秋田県立大学 知能メカトロニクス学科 制御システム講座)

TEL: 0184-27-2226

Email: tobana@akita-pu.ac.jp



電子情報通信学会

通信ソサイエティ

IEICE Communications Society